

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	言語教育研究センター
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 社会環境や学生の教育ニーズの変化、学部増等に対応するため、センター運営組織体系を2013年度を目途に見直す。
2. 地域社会への貢献のため、中・高英語担当教員を対象とした教育プログラムを、現行の1.3倍の規模に拡大する。
3. 英語を始めとする言語教育において言語運用能力の涵養に重点を置いたプログラムを提供することで応える。

○指標

1. 言語教育研究センター運営組織体制の確立。
2. 中・高英語担当教員対象のセンター教育プログラムへの参加者数。
3. インテンシブ・プログラム受講者数、言語教育科目の履修者数。英語インテンシブ・プログラム受講者のTOEFLの成績。